

授業科目

スポーツツーリズム論

担当教員名 武田 丈太郎	対象学年	4	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	◎

授業の概要

現在、我が国においてはスポーツを通じて新しい旅行の魅力を創り出し、多種多様な地域観光資源を顕在化させ、観光業を活性化しようという動きが活発になっている。本授業は、観光業の概要とスポーツツーリズムの概念を理解し、実際に実施されている事例を分析するとともに、試案を作成する。

授業の目的

スポーツツーリズムの全体像を把握するために、観光業とスポーツの関わり、スポーツツーリズムの概念等の基礎的知識について学習する。また、スポーツイベントや合宿の誘致等の具体的な事例を分析し、問題点や課題等について理解を深める。さらに、グループワークで現実に実施可能な試案を作成し、健康・スポーツに関わる職域に必要な技能を身につける。

学習目標

1. 講義の目的、内容、評価について理解する。
2. 観光業の概要、スポーツツーリズムの概念について理解し、説明することができる。
3. 事例の分析をもとに、観光の視点からスポーツに関する問題点や課題について明らかにし、討議することができる。
4. 具体的な試案を作成することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	講義の目的、内容（スポーツツーリズムの概説）、評価方法	講義	武田 丈太郎
2	国内産業における観光業の現状と課題	講義	武田 丈太郎
3	観光業とスポーツの関わり、ツーリズムの歴史的発展	講義	武田 丈太郎
4	スポーツツーリズムの概念とスポーツコミッションの役割	講義	武田 丈太郎
5	日本のスポーツツーリズムの現状	講義・討議	武田 丈太郎
6	海外のスポーツツーリズムの現状	講義・討議	武田 丈太郎
7	スポーツ観戦型ツーリズムの事例1（メガスポートイベント）	講義・討議	武田 丈太郎
8	スポーツ観戦型ツーリズムの事例2（プロスポーツ）	講義・討議	武田 丈太郎
9	スポーツ参加型ツーリズムの事例1（スポーツ合宿）	講義・討議	武田 丈太郎
10	スポーツ参加型ツーリズムの事例2（ローカルスポーツイベント）	講義・討議	武田 丈太郎
11	事例の分析1（国レベル）	講義・討議	武田 丈太郎
12	事例の分析2（地域レベル）	講義・討議	武田 丈太郎
13	試案の作成1	討議	武田 丈太郎
14	試案の作成2	討議	武田 丈太郎
15	試案の発表	発表	武田 丈太郎

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	スポーツ・ヘルスツーリズム	原田宗彦、木村和彦	大修館書店	2009年	2,000円+税	
その他の資料						

評価方法

レポート(30%)、課題(30%)及び発表(40%)により評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：毎週水曜日昼休み(12:10～13:10)

研究室：O棟402

連絡先：jotaro-takeda@nuhw.ac.jp